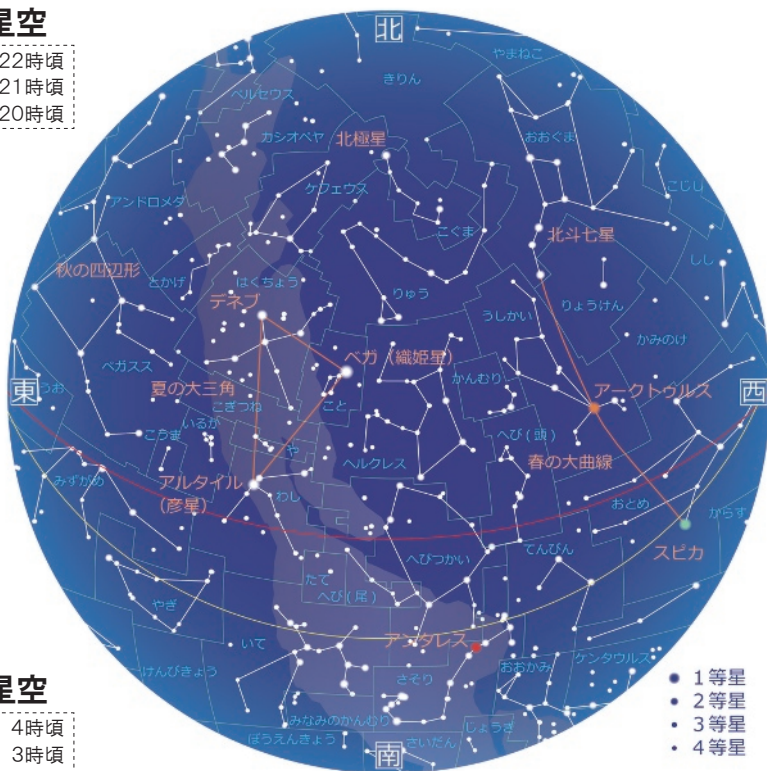


星空ガイド 7月16日～8月15日

よいの星空

7月16日22時頃
8月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

7月16日 4時頃
8月1日 3時頃
15日 2時頃



〔太陽と月の出入り(大阪)〕

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
7	16	水	4:56	19:11	22:29	10:11	20.7
	21	月	4:59	19:08	0:48	16:02	25.7
	26	土	5:03	19:05	6:12	20:13	1.3
8	1	金	5:07	19:00	12:12	22:45	7.3
	6	水	5:11	18:55	17:01	1:28	12.3
	11	月	5:15	18:50	20:04	6:54	17.3
	15	金	5:18	18:46	22:05	11:28	21.3

※惑星は2025年8月1日の位置です。

ペルセウス座流星群

毎年お盆前の時期にペルセウス座流星群の活動が見られます。今年2025年の極大は、8月13日5時(JST)頃と予想され、8月13日の夜明け前が最も注目となります。

ペルセウス座流星群は、ふたご座流星群と並んで毎年活発な活動が見られる流星群です。ふたご座流星群(12月14日前後)は寒い季節なので夜ふかしが大変ですが、ペルセウス座流星群は初めて流星を観察しようとする人にもおすすめの流星群です。

ペルセウス座流星群は、日没後から明け方に向かって徐々に出現が増えていきますので、夜明け前の時間帯が観察に適しています。この季節は午前4時頃から空が明るくなってきますので、1時間観察したい人は3時～4時、2時間観察したい人は2時～4時という風に観察予定を立てるのが良いでしょう。またもっともたくさん見える日は13日の明け方と予想されますが、12日の明け方や14日の明け方でも、13日の半分くらいの出現は見られると期待できるので、13日の明け方の天気予報が悪い場合は、前後の日に観察することも検討しましょう。

ペルセウス座流星群の流星はペルセウス座から四方八方へ飛び出すように飛びますが、流星そのものは空のどの場所にも表れる可能性があるため、ペルセウス座の方向にこだわらず好きな方角を観察すればよいでしょう。ただし、今年のペルセウス座流星群の観測では、うお座付近に月があり、13日3時頃ですと南の空に月が輝いています。街灯や月が視界に入ると、まぶしくて流星が見えにくくなってしまいますので、南以外の方角を観察の方が、流星を見つけやすいでしょう。



また、今年は月が大きいので、都会を離れた場所へ移動しても、それほど星が良く見えるようになるわけではありません。無理せず、安全な場所で観察してください。

飯山 青海(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
7	16	水	深夜、東の空に月と土星が約5°離れて並んで昇ってくる
	18	金	●下弦(10時)
	22	火	大暑(太陽黄経120°) 夜明け前の東の空で、月と木星が約6.5°離れて並ぶ
	25	金	●新月(4時)
	28	月	宵の西の低空で月と火星が約4°離れて並ぶ

月	日	曜	主な天文現象など
7	30	水	みずがめ座δ流星群が極大の頃
8	1	金	●上弦(22時)/水星が内合
	7	木	立秋(太陽黄経135°)
	9	土	○満月(17時)
	12	火	明け方東の低空で金星と木星が約1°まで接近する。 夜、東の空で月と土星が約2.7°まで接近して昇ってくる。
	13	水	ペルセウス座流星群が極大(5時)